

〔表紙写真解説〕

表紙写真は弥生町上小倉にある磨崖石塔群である。番匠川と井崎川に挟まれた高さ六九呎の小丘の東麓に彫られた磨崖石塔群で、宝塔七基・五輪塔二三基からなる。宝塔は丸彫りに近いほどの深い彫りで、高さは平均約二呎。四基に銘文があり、嘉暦元年(一一三二)から康永四年(一一四五)までの間に作られ、造立の趣旨も追善供養のため、あるいは逆修のために造立されたものである。宝塔の間には大小の五輪塔が半肉彫り、厚肉彫りで刻出されている。五輪塔は大小様々で、大は一・五呎、小は三〇釐に満たないものまであり、宝塔の両脇に存する例が多い。

発願者は大神姓佐伯氏に出自するもので、これら一族に關係する遺産であったことが知られる。佐伯市の十三重石塔とも無縁のものではなく、この両者の關係の研究は今後の大きな課題である。昭和二十八年(一九五三)に県の文化財に指定される(写真は『町勢要覧』弥生町一九八六年、資料は『大分県の文化財』などを引用)。

(矢野)

—— 行事のお知らせ ——

- (1) 佐伯四国88ヶ所巡り第8回弥生切畑地区
11月22日(金) 予定
- (2) 年末集会
日 時：12月1日(日) 12:00
場 所：ひょうたん小路(セントラルホテル1階)
会 費：6,000円11/25まで事務局へ
- (3) 初歩き
日 時：平成15年1月11日(土) 9:30
集 合：五所明神
コース：五所明神 — 平野道 — 坂ノ浦旧道
— 妙見社 — 葛港